

●安全上のご注意について



注意



禁止



実行

以上の記号の記述を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。



- 取付面には厚さ12mm以上の合板を使用する。
- 取付面が薄壁の場合は、事前に厚み30mm以上の補強材を設け施工する。
- 取付面がコンクリート下地の場合は、付属のコンクリート用プラグ、もしくは市販のコンクリート用プラグを使用する。



- 貴重品や壊れやすいものは掛けないでください。
- 本品に寄り掛ったり、乗ったりしないでください。
- ※脱落してケガをする恐れがあります。
- 下地の無い中空ボード、プラグを使用していないタイルやコンクリート面への取り付けはしないでください。
- この商品に使用しているねじは鋭利なので、幼児の手の届かない所に保管してください。
- 定期的に点検し、緩くなった場合には場所を替えて付け直してください。
- 全てのネジが効く下地ある場所を選んでしっかりと取り付けてください。

1 お手入れ方法

水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いてください。



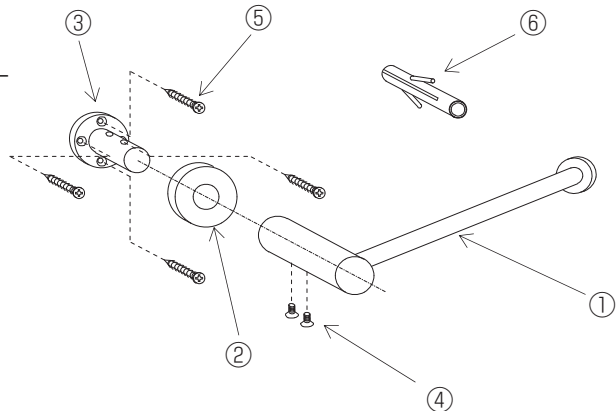
- アルコール、シンナー等の有機溶剤や、酸性・アルカリ性の洗剤、クレンザー等の使用は変色や劣化の原因となりますので、使用しないでください。
- 金属たわしやナイロンたわし等は、傷付きの原因となりますので使用しないでください。

2 製品の名称

●タオルリング・ペーパーホルダー

- ①本体 ×1
- ②座金 ×1
- ③壁取付座金 ×1
- ④本体固定ネジ ×2
- ⑤壁取付ネジ ×4
- ⑥樹脂プラグ ×4

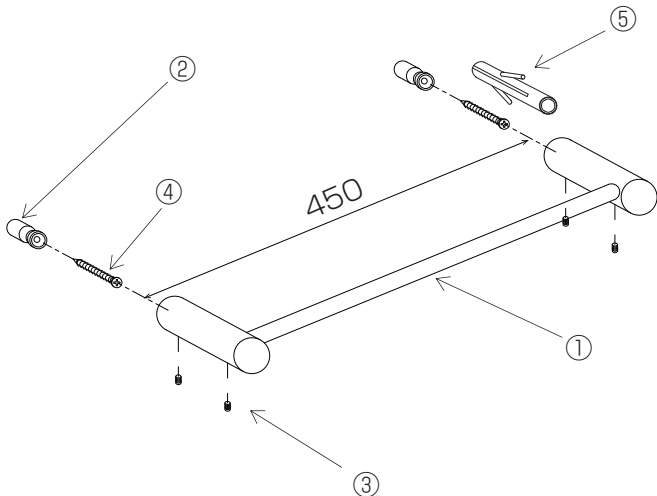
※樹脂プラグ⑥は取付する壁側に不安がある場合に併用してご使用ください



●タオルバー

- ①本体 ×1
- ②壁取付座金 ×2
- ③本体固定ネジ ×4
- ④壁取付ネジ ×2
- ⑤樹脂プラグ ×2

※樹脂プラグ⑤は取付する壁側に不安がある場合に併用してご使用ください



3 施工手順

●タオルバー

① 壁取付金具②を壁にあて、壁取付ネジ④で450ピッチで水平に仮固定する



(壁側に不安がある場合は樹脂プラグ⑤を併用して下さい)

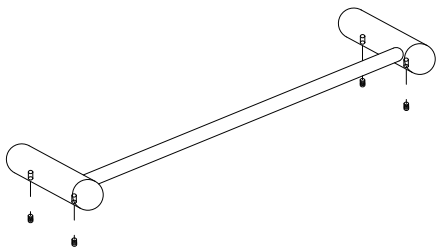
② 本体①を本体固定ネジ③1本で仮止めし、水平度を確認してください

※ピッチが合わない場合は③をゆるめ、ピッチを調整して下さい

③ 一旦、本体①を外し、壁取付金具②を壁取付ネジ④で固定してください

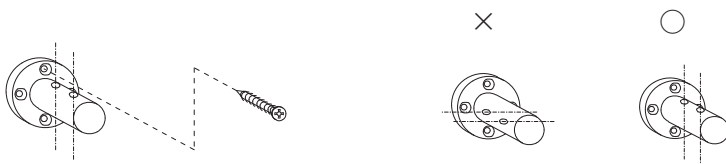
④ 本体①を取付けて下さい

⑤ 本体固定ネジ③をねじ込み 本体がしっかりと固定されるまで締め付けてください
※締め過ぎはネジ(ネジ穴)破損の原因になるのでご注意ください



●タオルリング・ペーパーホルダー

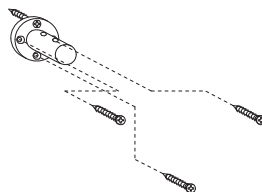
① 壁取付金具③を壁にあて、壁取付ネジ⑤1本で仮止めしてください
※注意 壁取付金具は、ネジ穴が上下になるように取り付けてください



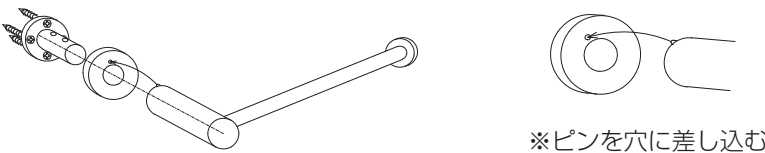
② 本体①を本体固定ネジ④1本で仮止めし、水平度を調整のうえ壁取付金具③を固定している壁取付ネジ⑤1本を本締めしてください



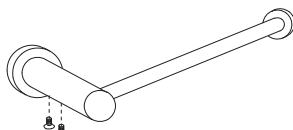
③ 一旦、本体①を外し、壁取付金具③を残りの壁取付ネジ⑤で固定してください



④ 座金②→本体①の順で取り付けて下さい。その時、本体にあるピンを座金の穴に差し込んでください



⑤ 本体固定ネジ④をねじ込み 本体がしっかりと固定されるまで締め付けてください
※締め過ぎはネジ(ネジ穴)破損の原因になるのでご注意ください



4 アフターサービス

保証書

品 名		トーパータオルリング・タオルバー・ペーパーホルダー		
保証期間	期間：お買い上げ日から1年		お客様	お名前
お買い上げ日	年 月 日			
工事店名	店名 電話			

※上記はお客様でご記入をお願い致します。(サービスを依頼される際にお役に立ちます)

- 正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には無償にて修理、または部品送付いたします。
- 保証期間内でも次の場合は有償扱いになります。
 - ア) 使用上の誤り及び不当な修理や設置による故障及び損傷。
 - イ) 正しい使用方法をお守りいただけなかった場合の故障及び損傷。
 - ウ) 弊社以外の組立設置における、組立設置時の不注意または過失による故障及び損傷。
 - エ) 弊社以外の組立設置において、組立設置資料通りに取付を行わなかった場合や、分解・改造などに起因する不具合。
 - オ) 設置床面の凸凹に起因する不良や、それに伴うメンテナンス作業(扉の丁番調整等)。
 - カ) 本来の目的以外の用途や一般家庭用以外(例えば車両、船舶への搭載、業務用など)に使用した場合の故障。
 - キ) お買上げ後の取付場所の移動による故障及び損傷。
 - ク) 天災地変等不可抗力による故障及び損傷。
 - ケ) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合。
 - コ) 消耗部品(照明の管球・グローランプ・バッキン・カートリッジ等)の劣化に伴う故障及び損傷。
 - サ) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げの色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の不具合。
 - シ) 砂やゴミ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合。
 - ス) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境、公害に起因する不具合。
 - セ) 温泉水・井戸水など水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことによる不具合。
 - ソ) 汚れやメッキ部品の錆、カビ等、通常のお手入れ不足による不具合。
 - タ) ねずみ、昆虫など動物の行為に起因する不具合。
 - チ) 凍結による故障及び損傷。
 - ツ) 材料の性質上生じるもの。(木・石などの自然素材を使用したもの、または自然の風合いを狙った製品の微妙な色目や表面状態のばらつきなど)
 - テ) タバコの火、商品を傷める薬品(有機溶剤、塩素系洗剤、強酸・強アルカリ等)の使用により発生した損傷。
 - ト) 硫黄やアルカリ分を含む入浴剤による損傷。
 - ナ) 建物完成後、入居までの間に管理などの不備により生じたもの。
 - ニ) 仕上げキズ等で引き渡し時にお申し出がなかったもの。
 - ヌ) 保証書の提示が無い場合。
 - ネ) 保証書にご購入者様情報、お買上げ年月日など必要事項の記入の無い場合、あるいは字句の書き替えられた場合。
 - ノ) 離島又は離島に準じる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費。
- 本書は日本国内にて有効です。
- 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保存して下さい。